

青森県

雪国におけるマルチモーダル・ビックデータに関する取り組み

(NPO法人青森ITSクラブ)

<背景>

日本再興戦略においてヒトやモノが安全・快適に移動することのできる社会の実現が求められている中で、青森の最大の課題である大雪等による交通障害への対応が早急に求められている。

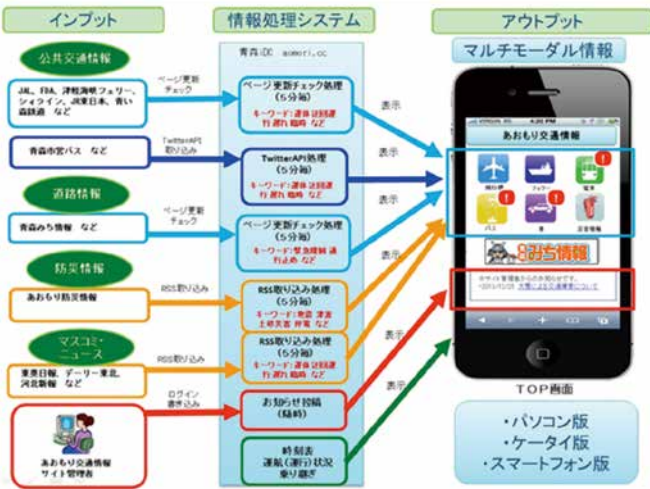
<内容>

大雪時等でも道路利用者等が安全・快適に移動できるよう、道路情報と公共交通情報等を一元化したマルチモーダル情報(あおり交通情報)を提供するとともに、ビックデータの解析情報(ビックデータ交通情報サービス)を除雪作業補助情報として試験的に提供する取り組みを全国に先駆けて行った。

○マルチモーダル(2013.12~)

パソコン・ケータイ・スマートフォンの様々なツールを活用し、道路情報のほかに公共交通情報等(電車・バス等)を提供し、これまで煩雑だった交通機関等の情報収集が円滑になり、代替交通の選択や出発時間の調整など、スムーズな移動の切り札となることを期待するものである。

システム構成図(あおり交通情報)



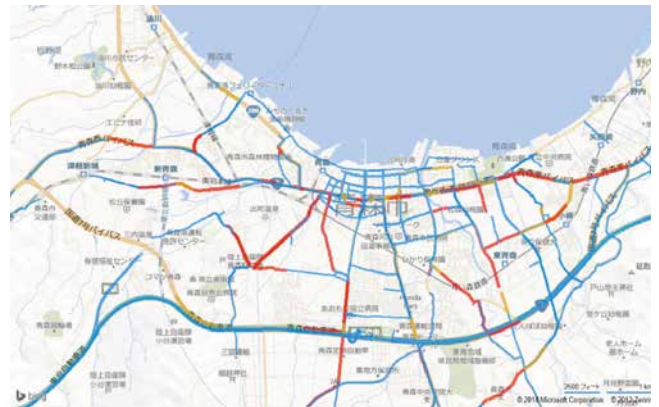
システム構成図(あおり交通情報)



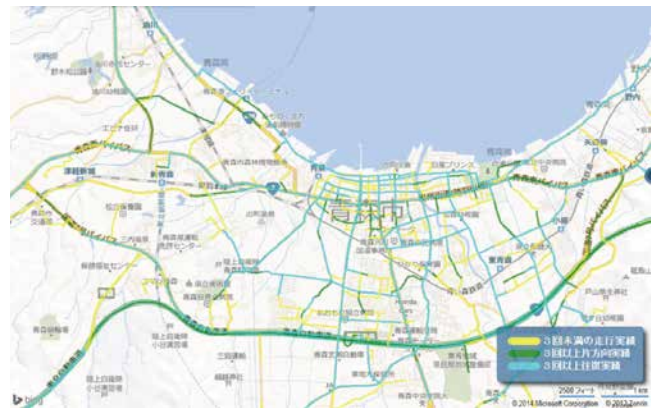
○ビックデータ(2013.12~2014.3)

冬期の安全・快適な移動には、除排雪作業・凍結抑制剤散布などの実施が不可欠であり、ビックデータ交通情報サービス(プローブ交通情報・通行実績情報・ABS作動地点マップ)を活用することなどにより、限られた予算の中で効率・効果的な道路維持管理が可能となり、冬期の安全・快適な移動の一助となることが期待される。

画面イメージ図(プローブ交通情報)



画面イメージ図(通行実績情報)



画面イメージ図(ABS作動地点マップ)

